

事業報告概要書（公表版）					公表様式
1 基本情報					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
都市部の公園・南部グループ		（指定管理者名）公益財団法人 東京都公園協会 （団体の概要）都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業（指定管理者事業を含む）及び収益事業を行う。			
指定期間					
R5.4.1 ～ R10.3.31（5年間）					
2 施設名					
日比谷公園・芝公園・青山公園・林試の森公園・蘆花恒春園・祖師谷公園					
3 管理運営の概要					
基本理念「ひとと緑が出会い、未来へつなげるレガシーパーク」					
1.公園の魅力アップ ○公園ごとの特徴をとらえたプログラムの企画実施 ○暮らしに身近な自然の魅力を子どもたちに伝える					
2.緑の拠点形成と安全安心 ○子どもから大人まで地域の身近な自然に親しむ機会を提供 ○安全安心な活動を可能にする、防災情報の発信、感染症対策を実施					
3.協働と連携 ○多様な形の都民協働を推進し、公園発まちづくりを進める ○周辺のまちの変化にあわせ、企業等と連携した新しい公園管理に挑戦					
4 管理状況（維持管理）					
○日常の基本的な植栽・施設の管理作業を愚直に進めつつ、各公園のパークビュースポットとしての魅力を高めるため、日比谷公園では第一花壇の見栄え向上・ネモフィラやユリ景観の創出継続・ツツジやフジの向上に向けた手入れ手法の検討、芝公園での新たなスポットとしてのミニ芝生広場の提供・もみじ谷の滝や水流を意識した植栽管理・紅葉期のライトアップのスケール向上、林試の森公園での池堆積土浚渫と水辺の植栽管理を合わせた水景景観づくり、蘆花恒春園での開放感のある竹林管理・樹林地保全作業、祖師谷公園での自然樹形を基本とした剪定作業などを実施した。 ○青山公園では南地区大階段での視認性向上の取り組み、林試の森公園では豪雨時の園内外への被害軽減に向けた雨水排水対策、祖師谷公園ではこまめな段差等の視認性向上や補修を実施した。また、芝公園急傾斜地での樹高等を考慮した軽減剪定・高速道路への影響を抑える剪定、蘆花恒春園でのナラ枯れ対策の薬剤樹幹注入、樹木診断に基づく樹木処理等を実施、安全で利用しやすい園地・施設提供を継続した。 ○東京都関連工事等への積極的な協力体制を継続し、日比谷公園第2花壇工事・林試の森公園新規開園工事・芝公園喫煙所改修等での利用者調整や事前協力等を適切に行い、事業のスムーズな展開に尽力した。					
5 利用者アンケート結果					
実施方法：公園内で調査票を配布・回収／QRコード掲示によるWEBアンケート					
施設名	照合 満足度	植栽 管理	施設の 清潔さ	安全 ・安心	職員の 対応
日比谷公園	4.7	4.8	4.5	4.7	4.8
芝公園	4.7	4.7	4.1	4.6	4.7
青山公園	4.7	4.5	4.5	4.7	4.7
林試の森公園	4.7	4.7	4.6	4.6	4.5
蘆花恒春園	4.8	4.9	4.6	4.8	4.8
祖師谷公園	4.5	4.7	4.6	4.6	4.7
6 入園者数の状況（単位：人）					
施設名	当該年度	分析			
日比谷公園	2,343,758	9月からの再生整備工事に伴う第二花壇周辺の立入禁止が大きく影響し、前年比20％減少。			
芝公園	1,493,394	開園150周年を記念した大型イベント開催や地域連携の拡充により、前年比6％増加。			
青山公園	399,399	南地区整備工事が完了、イベントや集会等が本格的に再開し、前年比4％増加。			
林試の森公園	1,257,633	コロナ禍で爆発的に入園者が増加したが、公園以外にも利用が分散したことでコロナ禍前と同水準に落ち着いた。			
蘆花恒春園	794,454	地域の大型イベント再開や新たに鉄道会社との連携イベントが好調で、前年比6％増加。			
祖師谷公園	1,033,271	下期は整備工事に伴うテニスコートの使用中止が影響したが、昨年度とほぼ同水準で推移。			
合計	7,321,909				



日比谷公園

所在地：千代田区／開園面積：16.16ha

魅力に磨きかけ世界に誇る公園
～まちと一体性高め、だれもが訪れやすく



日比谷公園ガーデニングショーに合わせドレスアップした第一花壇

まち、公園、人をつなぐ新しい取組 新規



「HIBIYA PARK TERRACE 120」(①～④)

開園120年を迎え魅力に磨きをかけ、世界に誇る公園を目指し、誰もが楽しめる、まち、人、公園がつながる「日比谷」ならではのイベントを実施。周辺企業と連携し、まちとの導線を考慮した園地利用で**1.1万人(前年比130%)**の来場者で賑わいを創出した。



多くの来園者で賑わう「HIBIYA PARK TERRACE 120」

①防災×スポーツ「BOUSAI プロギング」

住民同士の顔が見える関係づくりを目的に、千代田区社会福祉協議会他と連携し新スポーツのプロギングを開催し**防災施設見学、まちのクリーンアップ、交流会**を入れたプログラムを実施。「交流できた」「皆と話ができた」等の声がありスポーツを軸に地域の輪を広げられた。



ジョギングしながらゴミを拾うプロギング中に防災トイレも見学

企業や団体と連携した、まちと公園の回遊促進とエリア一体の賑わい創出

②まちと連動した、映画イベント&記念映像制作

東京国際映画祭が行われる日比谷で周辺商業施設と連携した映画イベントを開催。映画音楽コンサートや映画ワークショップを実施し、**完成した120周年記念作品を商業施設で上映。イベント連携開催でまちと公園の回遊性を高めた。**



商業施設で上映された日比谷公園の作品

③夜の公園に賑わい創出 SDGs意識のナイトマルシェ

日比谷エリアのイルミネーションイベントと連携し**クリスマスにナイトマルシェを開催**。環境保全活動で伐採された竹で作ったクリスマスツリーやソーラーパネルで充電したライトバルーンで、**持続可能性を意識したマルシェを実施。**



やさしい光で包まれたクリスマスマルシェ

④日比谷公園の“新しい使われ方”イメージの創出

「HIBIYA PARK TERRACE 120」では、**都会の夜空環境啓発を兼ねた星空観望会や新規取組としてテレワーク空間創出**を実施。「公園でテレワークができるなんて思ってもみなかった」等の声もあり新たなニーズも掘り起こせた。



飲食しながらテレワークする来園者



日比谷エリア恒例のイベントに！「日比谷音楽祭」 継続



来場者11万人！日比谷エリアの恒例イベントを目標に

楽器ワークショップや演奏体験、本格的な演奏等、多彩なプログラムに11万人が来場。園内各所に工夫を凝らし、2019年から実施を継続。再生整備後には世界に誇れる音楽祭として定着することを目指し園内管理、実施調整を行った。



第二花壇内のステージをのんびり楽しむ来園者

草地広場を活用した多世代に向けた多様なプログラム

遊具のある草地広場では、小さな子どもから高齢者まで一緒に踊るプログラムや親子でのゴミ拾い体験、民族音楽を使った体験プログラムなどを集め、子どもの笑顔が溢れ、かつ多世代で楽しめる上質なみどり空間を創出した。



草地広場でみんなで踊ろう！

スマホで見られる「うごく超便利マップ」をリリース

公園職員のお気に入りスポット紹介やマップ内に園長が登場するなど、音楽祭を通じて日比谷公園ファンを増やすことを目的にデジタルマップを制作。利用者が便利に楽しめるDXを活用した動くイラストマップを提供した。



公園の歴史や魅力をマップで発信

開園120年の日比谷公園をPRする取組 新規



120周年記念花壇ライトアップと特設HPの開設

開園120年を迎えた日比谷公園を改めてPRするため、開園記念日の6月1日、120周年記念花壇のライトアップと特設HP公開を実施。記念花壇は植物のエネルギーを利用した「ボタニカルライト」を使い、約9,000人が未来の明かりを楽しんだ。特設HPでは日比谷公園の歴史・樹木等の写真を掲載し120周年のPRに努めた。



日比谷公園120周年特設サイト



未来の明かりに包まれた記念花壇

パートナーシップで公園を利用しやすく魅力もアップ 新規



「首かけイチヨウ」の適正な管理と美観保持

シンボルツリー「首かけイチヨウ」の樹勢回復を目的に、一般社団法人東京都造園緑化業協会と連携し、調査に基づく適正な剪定を7年ぶりに実施し強風による枝折れを防ぎ、安全確保と公園の魅力に磨きをかけた。



伸びた枝を適正に剪定し美観保持に加え安全を確保



利用者目線での公園施設の調査・改善 NEW!

南部グループ他公園で実施した、障がい者団体による調査結果を参考に施設補修を実施。園路の不陸解消や点字ブロック補修で、園内をより通行しやすく改善。



園路の不陸（施工前）



園路の不陸解消（施工後）

だれもが訪れやすい公園に！



芝公園

所在地：港区／開園面積：12.25ha

長い歴史と新しいまちづくりが
出会う公園



祝！都市公園制度 & 芝公園開園150周年を彩るイベント



多様な切り口で幅広い層に向けて多彩な魅力を発信！ グレードアップしたガイドツアー

従来は年2回実施のガイドツアーをほぼ毎月計13回開催、計200人以上が参加。芝の語り部、港区観光大使、区立芝公園やみなと図書館と連携し、見どころ、歴史、樹木・草花、SNS映えスポット等を案内、公園をはじめとする芝地区の魅力を深く幅広い層にPRした。



従来は年齢層高めめのガイドツアー 新たに子どもの参加者を獲得

もみじ谷の滝あかり
歴史資源をさらに輝かせる

ライトアップの照明を2→10台、期間を1→17日間と大幅拡大。紅葉のピークにあわせて夜景スポットガイドツアーとミニコンサートを行い、歴史的資源であるもみじ谷と夜間の公園の新たな魅力を創出し、利用促進を図った。



「港区めぐり歌」特別バージョンも披露、約60人が参加

アプリで公園の歴史めぐり 「時をかける謎解き」

公式アプリTOKYO PARKS PLAYに初めて謎解きコンテンツをリリース。東京タワーも加えた歴史スポットのセルフガイドツールとして開始2週間で18,000人が閲覧。

NEW!



「かなり難しかったけど、面白かった」

東京タワーと初のコラボ 上空から夏休みの親子にPR

区立芝公園とともに東京タワー開業65周年記念事業「メインデッキツアー」を初開催。普段と異なる視点から普段と異なるターゲットに地域全体をPR。

NEW!



東京タワーのガイドスタッフが楽しく進行

Discovery! Tokyo Metropolitan Shiba Park

公園協会HP内に、園内にある歴史資源等の見どころや開園記念日にあわせたイベントを紹介する特設サイトを開設。利用者が求める情報を一元化し、多言語にも対応。

NEW!



見どころ・イベント情報満載の特設ページ



「花と光のムーブメント」とのタイアップ



全体イベントとの連動イベント「芝公園 これまでの150年・これからの150年」を開催

10～11月に4号地で開催の「花と光のムーブメント芝公園×150th Anniversary」にあわせて、都立総合芸術高校・芝学園の演奏会、港区観光大使の講演・演奏、ハロウィン/書道ワークショップ、モルック体験、ゲームコーナーなど多彩な連携先との様々なイベントを主催し、開園月にさらなる賑わいを創出した。



地元・芝学園吹奏楽部の演奏会は大勢の観客で賑わった

NEW!

東京都交通局×東京メトロ×東京都公園協会
150周年記念歴史めぐりスタンプラリー

開園記念日にあわせて開催した三者共催スタンプラリーの最終チェックポイントとして期間中**3,409人も**の参加者が記念品交換に来所。予想をはるかに超える多くの景品交換者に対して円滑な景品補充と丁寧な対応を完遂し、「公園スタッフの労いの言葉がうれしかった」などの感想を頂いた。

NEW!



多い日は300人以上が記念品交換のため来所

地域密着・芝地区の活性化と安全に貢献



第41回みなと区民まつり

当園、増上寺等を会場とする芝地区最大のイベント。公園ブースではパネル等で歴史を紹介し、2日間で延べ**19万人の来場者に公園の150周年をアピール**した。



「古墳があるなんて初めて知った」との声も

都民とともに園内美化

近隣企業等合わせて8団体、延べ**600人以上ものボランティア**のサポートを得て、園内清掃・花壇整備を実施。増加する来園者を美しい公園でお迎えした。



「花と光」会場の花壇に150の花文字

警察と連携した安全管理

都心立地の特性を踏まえ、愛宕警察署とともに**防犯訓練を実施**。また元首相の一周忌法要やG7外相会合開催時には、警察と密に連携して**地域の安全維持に協力**した。



護身具「さすまた」使用方法のレクチャー

安全と景観に配慮した維持管理



NEW!

150周年事業の一環として期間限定で4号地に設けた「ミニ芝生広場」を15号地に移設し、保育園児たちの人気スポットに。また「花と光のムーブメント」や「もみじ谷ライトアップ」開催前には、会場周辺の植栽手入れ等の計画的維持管理作業により、**万全の態勢で来園者を迎えた**。



春の4号地ではヨガや読み聞かせの会場に



15号地にて常設広場としてリニューアルオープン



青山公園

所在地：港区／開園面積：4.48ha

みんなと描く
都心のキャンバス



公園とまちをつなぐ サイクリング&ウォーキング



漆と楽しむ散走～青山周辺の「和」を求めて

新たに近隣企業「OVE」と連携し、日本文化を発信する美術館、商店を自転車で巡り、ゴールの南地区新規開園エリアで漆器を使い野点に挑戦。青山ならではの五感と知的好奇心を刺激する上質なコンテンツを提供し、地域活性化と新規利用者層の開拓につなげた。

歩いて辿る都市公園の歴史

NPO法人東京都ウォーキング協会と連携したイベントに50名が参加。青山公園から150周年の芝公園、120周年の日比谷公園を経由して、坂本町公園までの新コースを全員が完歩。「今年で90歳になるが来年も楽しみ」「普段より快活に歩けた」と大好評。

NEW!



風景を楽しみながら自転車で行く「散走」 お点前にも挑戦



都立公園開園150周年の横断幕と記念撮影 いざ出発！

未来を担う若い芽を育む 都心の公園の豊かな自然の啓発



都心の公園をフィールドに 自然観察会

東急建設(株)、港区立青南小学校との三者連携による体験学習。3年生93人が園内のいきものを観察。学習指導要綱に沿うよう事前に学校側と入念な調整を行い、学校教育を補完する場として公園が活躍。

発生材の活用 出張工作教室

日本大学生物資源科学部と連携し、港区の児童施設2館に向いてクリスマスリースづくりを実施。幼児には学生が手厚くサポート。2館あわせて16人が参加し、公園の豊かな自然の啓発、自分で作る楽しさを提供。



昆虫クイズ わかるかな？ みんな一斉に挙手



工作教室を終えて 子育て世代と大学生の交流にもなりました



パークミーティング みんなで描く公園の未来



公園の声かけで南北両地区の関係者が集結

両地区の自治体・町会・教育機関や隣接する区立公園指定管理者等が一堂に会したパークミーティングを開催。公園の現状・活動報告や災害時の役割を説明。参加者からも地域の抱える問題や公園に期待することなど忌憚のない意見交換を行った。ミーティングから生まれたアイデアを実現させ、**さらなる連携強化**を図っていく。



①キッズフェスタ

自治体、区立公園、消防署や近隣企業と連携し、子ども達がペットと一緒に災害を乗り越えるための防災イベントを初めて開催。



災害救助犬のデモンストレーション

②地域連携防災訓練

保育園4園を招き、起震車や煙の体験を通じて子ども達が楽しみながら防災対応力を向上できる訓練を港区や消防署との連携で実施。



能登半島地震の直後で保育士から感謝の声

③犬のノーリード対策

愛犬家のマナー向上を図るため、赤坂地区総合支所と合同で毎月2回不定期の巡回を継続。ノーリードが激減するなど効果が出ている。



マナーを守る飼主にも感謝の声掛け

共創～みんなでつくる青山公園の花壇と広場～



実践！ナチュラルガーデニング

好評の**利用者参加型**花壇づくりで担い手の育成を継続。毎回発行のレポートを見た港区いきいきプラザからの依頼で特別講習会を開催するなど**新たな展開**も。



職員と一緒にガーデニングを学び いずれは花壇管理の主戦力に

プチボラの活躍

公園の呼びかけで南地区多目的広場の**石拾い**に60人が参加。他にも企業等による落葉清掃やフェンスの蕨除去など利用者ととともに園内の安全と美化を推進。

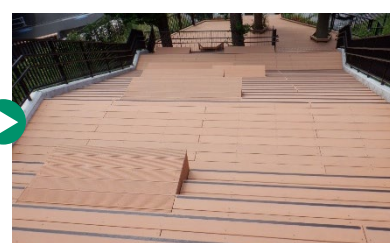
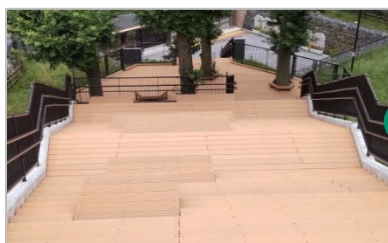


一致団結！みんなで協力して安全な広場で遊ぼう

安全性向上の取組



南地区飛地側の階段は真新しく明るい色ゆえ段差がわかりにくい一面も。専門業者とともに色・素材などを検討し、**事故防止と視認性向上**を兼ねた防滑テープを貼付、開放に向けて利用者の安全を確保した。





林試の森公園

所在地：目黒区、品川区／開園面積：12.25ha



11月1日開園！北西エントランスゾーン

公園がつなぐ地域・自治体 防災意識と対応力の向上



地域連携フェスタ「防災フェアin林試の森」

初めての品川区・目黒区が共同した防災イベントを開催、さらに、目黒消防署・自治会も加わり目黒区長も視察に訪れるなど、**行政区をつないでの地域一体となったイベント**となった。公園は両区の防災トイレを展示・説明するとともにイベント全般を主導し、品川区・消防署は応急救護訓練（AED）、防災VR体験、起震車体験等、目黒区・町会は応急給水施設の公開や炊き出し体験等を実施。**約1,000人の近隣住民の防災意識向上**に貢献した。



サービスセンターは防災トイレを案内



品川区による防災体験VR



目黒消防署によるAED訓練

目黒区・品川区の10町会とのパークミーティング

関東大震災100年目の9月1日に、防災をテーマとして品川区・目黒区の計10町会**13名**を招いてのパークミーティングを開催し、意見交換を行った。要望のあった防災トイレを、早速、上記「防災フェア」で紹介するなど、**地域とともに防災を考えていくきっかけ**となった。



公園の防災設備・体制を紹介

緑と水とみんなの笑顔 既存施設の活用で魅力アップ



「ジャブジャブ池」で秋も遊ぼう！



おしゃれなコーヒーのキッチンカーも出店



リユースワークショップでハーバリウム製作

夏場、子ども達が楽しんだジャブジャブ池をカフェに模様替えし、**大人も子どもも寛げるスペースを創造**。ボランティアも参加したりユースワークショップを同時開催。**休止期間の有効活用、利用促進を図った。**



林試の森「SDGsパークセンター」の取組



落葉のリサイクル「土の面白さ体験」

ボランティアと連携し、落葉等から腐葉土作りや腐葉土で見つかるいきものの観察会を実施。「作ったバイオネストがどう変わるか見たい」との声に応じて急遽秋に追加開催。



春の腐葉土イベントには40人が参加

下池 浚渫土の有効活用にチャレンジ

2年に一度回収している池底の堆積土・落葉に納豆菌・米ぬかを加えることで腐葉土の短期精製を試行。池があり樹木の豊富な当園ならではの取組でコスト削減とSDGsへの貢献に挑戦！

NEW!



職員が毎月攪拌して熟成を促進

大学・高校との連携 都会の豊かな自然を研究フィールドに

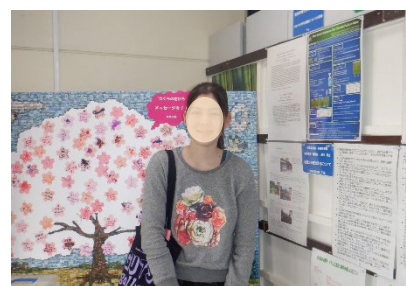
日本大学生物資源科学部の協力のもとリニューアルした樹木マップが大好評。また、研究フィールドとして継続の①東邦大学理学部の寄生虫研究、②攻玉社高校のチョウ相の研究、に加えて、新たに③朋優学院高校の土壤微生物の授業、④東京学芸大学付属高校の上池の藻の研究の場を提供した。成果がまとまったものはセンター前に掲出して利用者に紹介し、公園の豊かな自然のPRと研究者の発表の場を用意。



樹木マップを使って職員がガイド



攻玉社高校のチョウに関するレポート



学芸大附属高の研究生と論文展示

みんなのパワーを公園に集結！



小学生・高校生による清掃活動

近隣の小学校・高校が授業の一環として園内の清掃活動を実施。次世代を担う若者に社会貢献と学びの場を提供。



都立小山台高校の清掃ボランティア

ボランティアとともにマナーUP

愛犬家チームとともに、毎月犬の散歩マナーの向上と園内清掃を実施。当初30人前後でスタートした取組は回を重ねるごとに参加者が増え、50人を超えたことも。糞の放置も減少中。

NEW!



ボランティア団体「わんTEAM」のみなさんと清掃+マナー呼びかけ



蘆花恒春園

所在地：世田谷区／開園面積：8.03ha

文学と、武蔵野の風を感じる、
地域に生きる公園



文学・文化財をもっと親しみやすく



初の取組 徳富蘆花旧宅を竹ランタンで彩る

園内竹林の発生材を利用して、ボランティアや子ども達と竹ランタンを製作するワークショップを開催。そのまま文化財エリアに飾りつけて夜間鑑賞。当日は280人が来場、普段このエリアに馴染みのない来園者も、仄かな明かりで彩られた「蘆花さんの家」を堪能。文化財を親しみやすく、地域に開かれた場として活用。

NEW!



自作の竹ランタンに照らされた旧宅は趣もひとしお

かやぶきコンサートで文学に親しむ

徳富蘆花旧宅を活用した年3回の無料コンサート開催。初の取組として蘆花作品『みみずのたはこと』を朗読とゴシックハープの音色で伝える、趣向を凝らした演目も用意。音楽を通じて「蘆花についてもっと知りたい」という参加者多数。公園ならではの舞台設定で、蘆花文学の魅力を気軽に味わう機会に。



仄かな朗読と心地良いハープの音色が五感に訴えてきます

文学セミナー～徳富蘆花の文学世界を巡る旅～

研究者を講師に招き、会場・オンラインのハイブリッド方式で開講。従来は連続講座としていたが、一話完結で1回のみ参加も受け入れたことにより常時新規の申込みがあるほど人気の講座に。様々な切り口から蘆花とその時代の魅力に肉迫。親しみやすい内容に加え講師のソフトな語り口も相まって、蘆花ファンの裾野を広げた。



まるで謎解き。参加者みんなで旅気分

防災対応力向上に向け「公園でこそできる訓練」を

世田谷区、成城消防署の協力のもと、新たに地域の4保育園とともに防災訓練を園内で実施。起震車体験や煙体験など、公園の広いスペースを生かした訓練内容を取り揃え、「園庭がなく、やりたい訓練が充分できない」という保育園側の課題に応えた。

NEW!



消防署の指導で初めての体験



地域とともに歩み続ける公園



地域最大のイベント

第11回烏山地域蘆花まつり

4年ぶりの本格開催となった「烏山地域蘆花まつり」を実行委員会及び世田谷区との共催で実施。過去最高の31,000人の来場者に対し、公園では**ブース出展やガイドツアー（今年最多27人参加）**で徳富蘆花を紹介した。また、職員総出で臨時駐輪場の設営・誘導など会場内の安全管理に努め、**事故・苦情の発生をゼロ**に抑えてまつりの成功に貢献。烏山地域中心としての公園の存在をアピールした。



公園ブース「蘆花恒春園いまとむかし」パネルに興味津々の来場者

蘆花作品にも登場する「京王線」

鉄道会社との連携で公園の知名度アップ

京王線開業110周年と都市公園制度150周年を記念し、**京王電鉄(株)との初の連携事業**が実現。蘆花作品と京王電鉄の秘蔵資料などを記念館で展示。あわせて実施した園内スタンプラリーでは達成賞の京王オリジナルグッズが**開始1週間を待たずに用意した300を完配。急遽700追加**するなど老若男女問わず大人気で、蘆花まつり後に課題とされた知名度向上に貢献した。



京王の「けい太くん」との記念撮影には長蛇の列



NEW!

近隣保育園児たちが景品交換に来所

武蔵野の風をより感じられるように



武蔵野の雑木林を次世代へ

「武蔵野の雑木林の自然回復」を目標に、樹木の保全や希少植物種を保護育成した。笹刈りや林床整備など**保全計画を中期的観点から見直し**、樹幹注入などのナラ枯れ対策に加え、後継樹の育成・管理を実施。**次世代への景観継承へつなげた。**

NEW!



ボランティアの知見も合わせてSDGsに貢献

小さな手でマナーアップ

武蔵野の風が心地良いのも園内環境が良好であればこそ。**新たな取組**として近隣保育園5園の園児とともに植えたチューリップのプランターを、園内のゴミが放置されがちな場所に設置。**園内の美観向上とポイ捨て防止の二つの効果**が得られるという嬉しい結果に。

NEW!



水やりも小さなお友達が活躍

資源循環への新たな試み

トヨタ自動車(株)との連携で、野外卓の基礎周辺にて**剪定枝を活用した木質化舗装**の実証実験を実施。自然由来の素材（水、砂、土、ウッドチップ等）のため劣化後も土に還元される、**新技術を活用した環境配慮型の園内循環施策でSDGsに貢献。**

NEW!



基礎周辺の土砂流失、雑草繁茂も防止



祖師谷公園

所在地：世田谷区／開園面積：9.49ha

暮らしに寄り添い
みんなが集まるホームパーク



みんな大好き！居心地のよい公園



季節の風物詩・こいのぼり掲揚＆ 「家族であそぼうin祖師谷公園」

近隣3保育園の園児のべ112人が大きなこいのぼりに
思う存分ペイントする公園ならではの楽しさ、**昨今薄
れつつある和文化に触れる貴重な体験を提供。**

子どもの日は小学校の保護者4団体との連携イベント
を開催し地域交流の場として公園を活用。公園職員に
よる風車付こいのぼりワークショップは100人が参加。



園児達が描いたこいのぼりが青空を泳ぐ姿は圧巻

第29回トライアングルフェスタ＆ どんぐり工作教室

来場者8,000人の地域最大イベントの会場として主催
者との綿密な打合せや巡回強化により安全に実施。公
園も発生材を活用した工作教室を出展し、87人もの
親子連れが参加。身近な公園の豊かな自然について啓
発できたほか、**公園が交流の場として、地域活性化に
も貢献。**



どんぐりの種類や工作前の防虫処理を説明、子ども達は興味深々

「たねだんご」で子ども達の花育推進

公園のコーディネートによりボランティア・保育園等とともに大人
気のたねだんごづくりと植え付け、花摘みを実施。三者の良好な関
係を継続することができ、さらに**園児が職員・ボランティアの顔と
名前を憶えることで、見える安全・安心かつ地域のつながりを強化。**



たねだんごの植え付け



たねだんごから育てた花摘みの様子

「花暦マップ」でセルフガイド

ボランティアと協働で制作した「花暦
マップ・季節の樹木の花」を配布。**新
たに**チラシボックスを園内2箇所に設
置し、開所時間中に来所できない方に
大変好評で**月間配布枚数が3倍増。**



自分のペースで樹木観察が楽しめる」と好評



スケートボードのマナー向上をめざして



「祖師谷公園スケートボード協会」との連携

毎月、公園とスケートボード協会が共同でエントランス広場及び隣接する公園広場の清掃を実施し、園内美化への協力とともに公園利用者とも良好な関係を構築。清掃に参加した小学生の保護者から「安全に滑れるよう教えてほしい」との声を受け、**今年度より**初心者教室を開催。優しく丁寧な指導で大好評。清掃活動に加えて、**年少者へのマナー教育で近隣住民の理解を得るための一助となった。**



NEW!

毎月子どもたちとの清掃活動・初心者教室

地域防災の拠点として 子ども達への普及啓発



初の取組

園内保育園と合同避難訓練

茶々そしがやこうえん保育園の園児70人がはらっぱ広場に避難してきた想定で、**かまどベンチ等公園の防災施設を紹介。**さらに来年以降の継続と内容の充実で合意。

NEW!



公園のベンチがかまどにへんしん！

祖師谷公園たんけんたい & 小学校への出前授業

区立千歳小学校3年生140人を対象とした総合学習授業にて、公園内のフィールドワーク受入れと小学校へ赴き公園の**防災施設**を解説。能登半島地震の直後で**児童の真剣な姿勢が目立った。**



職員の説明を真剣に聞く児童たち

公園の防災設備を体験

地域一体「防災イベント」

世田谷区、自治会、近隣企業等の協力で防災イベントを実施。応急給水塔を開放したほか、公園のかまどベンチなど体験主体で設備を紹介し、**住民等200人が**楽しみながら地域防災を学んだ。



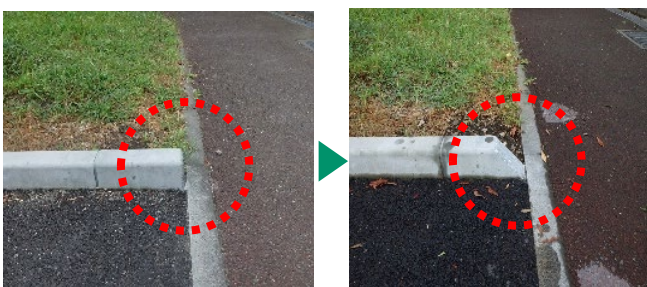
公園のかまどベンチの焼き芋は大人気

利用者へ安全・安心な環境を提供



危険箇所の早期発見・補修の対応

子供の遊び場の園路上の縁石や案内掲示板の基礎コンクリートの角が目立つ部分を**研削・研磨により面取りし、つまづきによる転倒を未然に防止。**



日々園内を点検、小さくても危険な箇所は見逃さない

近隣住民との対話による安全な樹木管理

住宅に隣接する飛地が多い立地上、樹木に関するご意見が10件以上寄せられ、真摯に傾聴した。**関係者との丁寧な対話により自然な樹形を意識した剪定を行い、安全かつ良好な景観を創出した。**



外周の越境枝剪定も自然な樹形を生かし、緑豊かな景観づくり

収支状況

3 収支(単位:千円)				
	令和5年度	令和4年度	令和3年度	公園別支出額
項目	金額	金額	金額	
収入 計	708,447	751,450	729,138	日比谷公園：207,691　芝公園：162,065 青山公園：43,875　林試の森公園：96,824 蘆花恒春園：84,712　祖師谷公園：112,111
内 指定管理料	708,447	751,450	729,138	
内 利用料金	0	0	0	
支出 計	707,278	740,383	725,339	
収支差	1,169	11,067	3,799	